※令和３年度以前入学生用

学校番号	３００７

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次 選択
使用教科書	現代の日本史　改訂版（山川出版社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本の近代・現代の 歴史的事象について、常に「なぜそうなるのか」という視点を持って考える。
・歴史的事象について学びながら、常に現在の日本との関係を考える。

２　学習の到達目標

・近代の日本史について、基本的な知識を身に付ける。
・現代の日本が直面する諸課題について、真剣に考察する態度を身に付ける。
・国際社会に主体的に生きる市民としての自覚と資質を培い、諸課題に取り組む態度を身に付ける。

３　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：見方や考え方	c：技能	d：知識・理解
観点の趣旨	歴史的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会において主体的に生き、国家・社会を形成する市民としての責任を果たそうとしている。	歴史的事象から課題を見出し、日本及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	日本及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	授業態度 ノート 提出物	授業態度 ノート 提出物	授業態度 ノート 提出物	授業態度 ノート 提出物

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
１学期	開国と維新・近代国家の形成と発展	・明治維新の背景 ・開国とその影響 ・維新と連続的改革 ・対外関係の変革と内乱の終結	○	○	○	○	ａ：明治維新の背景や開国、維新の過程、対外関係の変化などについて、意欲的に取り組もうとしている。 ｂ：これらの主題について、多面的・多角的に考察し、適切な方法を用いて表現している。 ｃ：様々な写真資料や絵画資料から、これらの主題についての情報を読み取り、考察する材料として活用している。 ｄ：これらの主題についての経緯を理解し、その知識を身に付けている。	授業態度 定期考査 ノート
		・自由民権運動 ・大日本帝国憲法の制定 ・日清戦争 ・日露戦争	○	○	○	○	ａ：自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清戦争・日露戦争について、意欲的に追究しようとしている。 ｂ：これらの主題について、多面的・多角的に考察し、適切な方法を用いて表現している。 ｃ：様々な写真資料や絵画資料から、これらの主題についての情報を読み取り、考察する材料として活用している。 ｄ：これらの主題についての経緯を理解し、その知識を身に付けている。	

※令和３年度以前入学生用

２学期	産業化と生活の変化・二つの世界大戦	・産業革命の進展 ・資本主義の確立 ・社会問題の発生 ・国民文化の形成	○	○	○	○	ａ：日本の産業革命と資本主義の確立、社会問題の発生、国民文化の形成について、意欲的に追究しようとしている。 ｂ：これらの主題について、多面的・多角的に考察し、適切な方法を用いて表現している。 ｃ：様々な写真資料や絵画資料から、これらの主題についての情報を読み取り、考察する材料として活用している。 ｄ：これらの主題についての経緯を理解し、その知識を身に付けている。	授業態度 定期考査 ノート
		・第一次世界大戦 ・大正デモクラシー ・国際協調と軍縮の進展 ・政党政治の時代 ・大戦中から戦後の経済と社会 ・都市化と大衆文化	○	○	○	○	ａ：第一次世界大戦、大正デモクラシー、国際協調と軍縮の進展、政党政治の時代、大戦中から戦後の経済と社会、都市化と大衆文化について意欲的に追究しようとしている。 ｂ：これらの主題について、多面的・多角的に考察し、適切な方法を用いて表現している。 ｃ：様々な写真資料や絵画資料から、これらの主題についての情報を読み取り、考察する材料として活用している。 ｄ：これらの主題についての経緯を理解し、その知識を身に付けている。	
		・昭和恐慌 ・協調外交のゆきづまり ・満州事変 ・軍部の政治的台頭 ・第二次世界大戦	○	○	○	○	ａ：昭和恐慌、協調外交のゆきづまり、満州事変、軍部の政治的台頭、第二次世界大戦について意欲的に追究しようとしている。 ｂ：これらの主題について、多面的・多角的に考察し、適切な方法を用いて表現している。 ｃ：様々な写真資料や絵画資料から、これらの主題についての情報を読み取り、考察する材料として活用している。 ｄ：これらの主題についての経緯を理解し、その知識を身に付	

※令和３年度以前入学生用

							けている。	
３学期	戦後の日本・現代の世界と日本	・占領政策の展開 ・戦後民主主義の定着 ・独立の回復 ・55年体制の成立 ・高度経済成長の光と影	○	○	○	○	ａ：占領政策の展開、戦後民主主義の定着、独立の回復、55年体制の成立、高度経済成長について意欲的に追究しようとしている。 ｂ：これらの主題について、多面的・多角的に考察し、適切な方法を用いて表現している。 ｃ：様々な写真資料や絵画資料から、これらの主題についての情報を読み取り、考察する材料として活用している。 ｄ：これらの主題についての経緯を理解し、その知識を身に付けている。	授業態度 定期考査 ノート